

愛知学院大学歯学部倫理委員会

平成 29 年度第 3 回会議 次第

平成 29 年 9 月 7 日 (木) 15:00~

I. 報 告

1. 平成 29 年度第 2 回倫理委員会議事録（案）（平成 29 年 7 月 13 日）
2. 「条件付承認」「修正の上承認」等判定後の再提出状況及び委員長決済
(平成 28 年 5 月以降)
3. その他 倫理委員会・研究支援課主催講演会開催

日時：平成 29 年 11 月 20 日（月）17:30~19:00

会場：楠元キャンパス 歯学薬学図書館情報センター 4 階大教室

※昨年までの会場とは異なります

講師：愛知学院大学 法学部准教授 鈴木慎太郎先生

演題：人を対象とする医学系研究倫理の現状と課題

II. 協 議

1. 新規申請の審査（7 件）
2. 前回審議「条件付承認」(1 件)「その他（保留・継続審議）」(1 件)
申請題の確認と承認
3. 研究終了報告書(3 件)
4. その他

平成29年度愛知学院大学歯学部倫理委員会委員名簿

◎委員長 ○副委員長

	氏名	所属等	委員区分(選出母体)	任期
	本田 雅規	口腔解剖学講座教授	規程第4条(1)基礎系講座専任教員	28.4.1-30.3.31
	池田 やよい	解剖学講座教授	//	28.4.1-30.3.31
	戸苅 彰史	薬理学講座教授	//	28.4.1-30.3.31
○	前田 初彦	口腔病理学講座教授	//	28.4.1-30.3.31
◎	千田 彰	保存修復学講座教授	規程第4条(2)臨床系講座専任教員	28.4.1-30.3.31
	武部 純	有床義歯学講座教授	//	28.4.1-30.3.31
	原田 純	麻酔学講座教授	//	28.4.1-30.3.31
	松原 達昭	内科学講座教授	//	28.4.1-30.3.31
	高木 敬一	愛知学院大学法学部教授	規程第4条(3)学識経験者	28.4.1-30.3.31
	黒神 聰	元愛知学院大学法学部教授	//	28.4.1-30.3.31
	柿田 憲広	金城学院大学非常勤講師	規程第4条(4)一般人	28.4.1-30.3.31
	鏡山 典子	愛知教育大学教育・研究支援部 学生支援課 嘴託職員	//	28.4.1-30.3.31

平成29年度 第3回歯学部倫理委員会
インターネット公表一覧

1	実施責任者	原田 純
	研究課題	愛知学院大学歯学部附属病院における過去10年間の小児全身麻酔に関する後方視的研究
	概要	愛知学院大学歯学部附属病院は、口唇口蓋裂患者など多くの小児の手術を全身麻酔下で行っている。より一層安全で的確な麻酔管理を行うため、今回当院における過去10年間の小児全身麻酔を後方視的研究に観察し、麻酔方法や合併症などを明らかにすることを計画した。
2	実施責任者	公表不可
	研究課題	公表不可
	概要	公表不可
3	実施責任者	平場 勝成
	研究課題	弓道およびアーチェリーにおいて弓を引く際の上肢・体幹および咬筋活動の協調について
	概要	咬筋は摂食運動だけではなく、様々な全身運動時にも活動することが知られており、過去の研究では、強い筋力の発生や姿勢の維持に影響を与える可能性が示唆されている。本研究では、弓道において弓を引く動作からは矢を発射するまでの上肢・体幹および咬筋の筋電図活動を記録し、動作中の各筋肉の協調動態について検討を行う。また、初心者と上級者との比較や、レーザーpointerを用いた、「ねらいの視覚フィードバック」が筋肉の使い方にどの様な影響を与えるか調査し、スポーツ歯科学的、運動生理学的観点から競技パフォーマンスの向上にどの様なアプローチができるか検討を行う。また、アーチェリーの選手に対しても同様な調査を行い、弓道とアーチェリーの違いも含め検討する。
4	実施責任者	有地 榮一郎
	研究課題	唾石症における頸下腺変化の画像診断的研究
	概要	唾石症における頸下腺変化の画像診断はいくつかの方法がある。画像診断及び臨床症状を考慮したうえで、外科的処置を選択する。画像診断のうち、超音波による診断は患者への被ばくを考慮するうえで重要な診断方法の一つと考えられる。本研究の目的は、唾石症による頸下腺変化（腫脹・萎縮・脂肪変性）を超音波画像にて診断可能にすることである。唾石症により、頸下腺変化がみられる症例の頸下腺超音波画像所見から有効と考えられる所見を抽出し、超音波画像における頸下腺変化の診断基準を確立することで、患者の被ばく低減につながることを期待する。 超音波画像にて健側頸下腺との大きさや形状の比較は容易である。しかし、超音波検査における頸下腺変化の特徴的な所見について言及した報告はまだ数が少ない状況である。そのため、唾石症による頸下腺変化を超音波画像にて診断可能にすることは、外科的処置の術前計画の一つとして重要な役割を果たすことが予想され、その意義は大きいものと考えられる。
5	実施責任者	西田 英作
	研究課題	細胞移植治療に有用なヒト骨芽細胞採取法の開発
	概要	公表不可
6	実施責任者	若山 清美
	研究課題	口腔外科外来での手指衛生行動に影響する因子及びタイミングの認知度調査
	概要	公表不可
7	実施責任者	名和 弘幸
	研究課題	歯学部附属病院障害者歯科診療部における日帰り麻酔下歯科治療の実態調査
	概要	公表不可